

J-BAC アルコール検知器技術規格  
(別冊)

規格文書名：JB10002-2022

アルコール検知器協議会  
技術委員会

2022年7月1日

1. 適応 .....	2
2. 用語および定義 .....	2
2.1 アルコール .....	2
2.2 アルコール検知器 .....	2
2.3 表示単位 .....	2
2.4 インターバル .....	2
2.5 アルコールシミュレーター .....	2
3. 申請機器の検定合格（型式認定）要件 .....	2
4. アルコール検知器の技術要件（基本要件） .....	2
4.1 測定範囲 .....	2
4.2 目量 .....	2
4.3 最大許容誤差（MPE） .....	2
4.4 定格製品仕様 .....	3
4.5 測定結果の表示 .....	3
4.6 アルコール検知器の抜取要件 .....	3
4.7 アルコール検知器の技術要件：基本要件と高信頼性要件 .....	3
4.7.1 直線性 .....	3
4.7.2 繰り返し性 .....	3
4.7.3 干渉ガスの影響 .....	3

## 1. 適応

本文書は『JB00002-2022 アルコール検知器検定制度』が規定する技術規格文書である。検定の申請、外部機関による監査等の手続きは本編（JB00002-2022）を参照すること。

## 2. 用語および定義

### 2.1 アルコール

エチルアルコールまたはエタノールを指す。

### 2.2 アルコール検知器

呼気中のアルコール濃度を測定し表示する機器。

### 2.3 表示単位

呼気体積の1リットル当たりのエタノール濃度。(mg/L)

### 2.4 インターバル

測定終了後から次の測定を開始出来るまでの時間。

### 2.5 アルコールシミュレーター

34℃において任意に調整されたアルコール濃度溶液を定量的に供給する機器。

## 3. 申請機器の検定合格（型式認定）要件

本編 JB-00002-2022 「アルコール検知器検定制度」 2.8 項を参照すること。

## 4. アルコール検知器の技術要件（基本要件）

### 4.1 測定範囲

0.00mg/L から少なくとも 0.25mg/L までのものとする。ただし、測定範囲の上限値は、製造事業者が決定してもよい。製造事業者は、もし下限値をマスクングしている場合、マスクングしている範囲を取扱説明書で説明しなければならない。

### 4.2 目量

結果の表示に関して、目量は測定モードにおいて 0.05mg/L 以下でなければならない。

ただし、0.05mg/L 単位の場合は、検査時において 0.01mg/L 単位でも測定出来ることが必要である。

### 4.3 最大許容誤差（MPE）

最大許容誤差は、測定濃度に対し $\pm 0.03\text{mg/L}$  とする。

#### 4.4 定格製品仕様

保管温湿度、使用温湿度については取扱説明書に明記すること。

#### 4.5 測定結果の表示

結果の表示は、見えやすくなければならない。

#### 4.6 アルコール検知器の抜取要件

呼気アルコール検知器の型式認定試験を実施する際、外部機関は、サイト監査の時に抜き取った試料を用いて行う。台数は4台とする。製造事業者は、抜きとり試料として最低8台準備すること。

#### 4.7 アルコール検知器の技術要件：基本要件と高信頼性要件

区分	項目名	性能の意義付け	文書カテゴリ	改版年度
4.7.1	直線性	精度(Accuracy)	JB10002 規格準拠	2022
4.7.2	繰り返し性	精度(Accuracy)		
4.7.3	干渉ガスの影響	精度(Accuracy)		

##### 4.7.1 直線性

0.00mg/L 及び 0.10mg/L、0.15mg/L、0.20mg/L の3点のうち任意の2点(計3点)を測定濃度とし、その3点の低濃度側から順に4台の検知器を用いて各1回測定を行い、4.3を満足しなければならない。ただし、0.00mg/Lは0.00mg/Lを表示すること。

なお、インターバルおよび検査濃度については、申請事業者の指示に従うこと。(申請書に記載)

##### 4.7.2 繰り返し性

0.00mg/L 及び 0.10mg/L、0.15mg/L、0.20mg/L の3点のうち任意の2点(計3点)を測定濃度とし、その3点の濃度に対し1台の検知器を用いて各10回測定を繰り返し、4.3を満足しなければならない。ただし、0.00mg/Lは0.00mg/Lを表示すること。

なお、インターバルおよび検査濃度については、申請事業者の指示に従うこと。(申請書に記載)

##### 4.7.3 干渉ガスの影響

下記の各ガス(指定濃度)に対し、1台の検知器を用いて各1回の測定を行い、表示値が0.05mg/L未満を表示すること。

一酸化炭素 : 0.057mg/L (50ppm)

アセトン : 0.024mg/L (10ppm)

水素 : 0.004mg/L (50ppm)